

ルート沿線である
国道222号や道の駅を含め
1万本を超える桜の植栽。

■ ルート名：日南海岸きらめきライン
日高 茂信さん



やっちみろかい酒谷 代表
宮崎県地域づくりネットワーク
協議会 顧問
日高 茂信さん

◆ 特徴的な活動

「美しい景観づくり」

- ・ 植栽活動
- ・ 清掃活動
- ・ 草原景観維持

「活力ある地域づくり」

- ・ 地域活性の指導、地域づくり
- ・ 地域資源の発掘・活用
- ・ イベント企画・開催

活動内容

日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会代表 日高茂信氏は2019年度に九州風景街道マイスターに認定。

やっちみろかい酒谷 代表など、地域おこしに尽力。日南ダムの鯉のぼり掲揚道の駅酒谷の法人化、坂元棚田オーナー制度などで「誇れる故郷」づくりを目指す。

Scenic Byway Kyushu Meister

日南海岸きらめきライン
日高 茂信さん



■ 誇れる地域づくり

棚田の景観で有名な日南市酒谷。その存在感を放つ道の駅酒谷。決して便利でない場所で、人を集める道の駅には草団子や棚田うどんなど、人々を引き付ける魅力的な商品が数多くある。ただ、酒谷地区はそれだけではなく、それを生み出す地元の人々の力が、何よりの地域づくりの源になっている。中山間地域の元気づくり、地域をつくり、人をつくるヒントがたくさんある取り組みである。

■ 笑顔をつくる取り組み

地域住民が集う機会づくり、日南ダムにこいのぼりを掲げるなどの活動

を地域住民と一体となって取り組み、地域の活性化とイメージアップを図る。

「せせらぎの里酒谷まつり」地域住民の交流、親睦を目的として開催された小布瀬の滝まつりを継承・拡大し、滝、石橋、棚田、日南ダム等の酒谷地区の地域資源を一体化してPRする祭りとして、道の駅酒谷を拠点に開催。

「鯉のぼり揚げ」酒谷地区のPRと5月5日のこどもの日を祝うため、日南ダムの正面に地域内外から譲り受けた350匹のこいのぼりを高さ47m、幅189mある日南ダムの正面に長さ300mのワイヤー3本を渡して揚げている。青い空、緑の山々をバックに泳ぐ色鮮やかでスケールの大きな鯉のぼりは、当地域の春の行事として定着しており、大勢の観光客で賑わっている。

■ 学び、実践、継続。

2024年度で第15回を迎える『日本風景街道大学 宮崎本校』。日南海岸きらめきラインは「うつくしの道づくり」「もてなし・いやしの道づくり」「神話と歴史の道づくり」を目的として、花の植栽・花苗の育成・暖竹伐採・地域づくりWS、モニターツアー企画実施・着地型観光ガイドブック、地域

団体の連携等を推進している。日南きらめきラインをフィールドに課題解決・発展に寄与する取り組みを行い、九州、全国の風景街道活動（地域づくり）に貢献することがねらいである。道の変化、地域の変化を活かし、日南海岸地域を元気にする取り組みを展開している。

